

令和4年度

天童市 一般会計 特別会計 歳入歳出決算審査意見書(抜粋)

天童市監査委員

監 第 31 号
令 和 5 年 7 月 31 日

天童市長 山 本 信 治 様

天童市監査委員 奥 山 吉 行

天童市監査委員 熊 澤 光 吏

令和4年度天童市一般会計及び各特別会計
歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項の規定により、審査に付された令和4年度天童市一般会計・各特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定める書類並びに基金の運用状況について審査した結果、次のとおり意見書を提出します。

目 次

第1 審 査 対 象	1
第2 審 査 方 法	1
第3 審 査 期 間	1
第4 審 査 結 果	1
第5 決 算 審 査 の 概 要	2
1 決 算 の 総 括	2
2 一 般 会 計	6
3 普 通 会 計 の 財 政 状 況	26
4 特 別 会 計	31
5 財 産 に 関 す る 調 書	44
6 基 金 の 運 用 状 況	48
7 む す び	49

《 決 算 審 査 資 料 》

表-1 収 入 未 済 額 科 目 別 年 度 別 内 訳 表	51
表-2 一 般 会 計 決 算 の 状 況 (5か年間)	52
表-3 一 般 会 計 款 別 節 別 支 出 額 集 計 表	54
表-4 市 債 現 在 高 の 推 移	56
表-5 指 数 ・ 比 率 等 の 推 移	56

令和4年度天童市一般会計及び 各特別会計歳入歳出決算審査意見書

第1 審査対象

令和4年度 天童市一般会計歳入歳出決算
令和4年度 天童市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
令和4年度 天童市用地買収特別会計歳入歳出決算
令和4年度 天童市財産区特別会計歳入歳出決算
令和4年度 天童市介護保険特別会計歳入歳出決算
令和4年度 天童市市民墓地特別会計歳入歳出決算
令和4年度 天童市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
令和4年度 天童市工業団地整備事業特別会計歳入歳出決算
令和4年度 各会計実質収支に関する調書
令和4年度 財産に関する調書
令和4年度 各基金の運用状況

第2 審査方法

決算の審査は、令和5年7月3日付けで市長から審査に付された令和4年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算並びに基金の運用状況について、歳入歳出簿、その他関係簿冊並びに収支証書類と照合調査するとともに、関係職員の説明を聴取したほか、例月出納検査、定例監査の結果を参考にし、法令、その他の規定に従って処理されているか、予算の執行が適正であるかに主眼をおいて実施した。なお、現金、預金の残高確認、証書類の残高確認、証書類の検査等については、別に法の規定に基づく例月出納検査において実施した。

第3 審査期間

令和5年7月3日 から 7月31日 まで

第4 審査結果

審査に付された各会計の決算及び附属書類は、関係法令に従って作成されており、計数的に正確であり、予算の執行についても概ね適正であると認められた。

また、各基金は、それぞれの設置目的に沿って運用されており、決算における計数は正確で適正と認められた。

7 むすび

令和4年度の一般会計と特別会計の各会計相互間の繰入金、繰出金を除いた決算総額は、歳入44,479,150千円（前年度比2,876,641千円減）、歳出41,693,721千円（前年度比3,129,083千円減）、実質収支額2,442,856千円で、前年度に比べ30,586千円増加しました。

普通会計の歳入については、自主財源が16,956千円（0.1%）減少し、依存財源が740,520千円（4.3%）減少しております。

自主財源については、繰越金、繰入金などが減少しており、依存財源については市債、国庫支出金などが減少しております。

個人市民税については、前年度に比べ55,646千円（2.0%）の増加で、これは個人所得が増加したことなどの要因が大きいものと思われます。また、法人市民税については、前年度に比べ4,710千円（0.7%）増加しております。一方、固定資産税は新型コロナウイルス感染症対策による特例措置が終了したことにより前年度に比べ96,646千円（2.5%）、都市計画税は前年度に比べ11,433千円（2.2%）それぞれ増加しました。

市税の収入率（現年度分）は99.1%であり、滞納繰越分を含めた収入率は93.5%で、前年度に比べ0.3ポイント向上しております。

次に歳出については、消費的経費が前年度に比べ14,673千円（0.1%）増加しております。特に、補助費等が増加し、主なものとしてプレミアム付商品券事業実行委員会負担金の増加などが挙げられます。投資的経費については、前年度に比べ1,096,215千円（46.6%）増加しております。これは、干布地域交流・活性化センターの新築などにより普通建設事業費が増加したことによります。

また、令和4年度は、第七次天童市総合計画の6年目に当たり、持続可能な健全財政の堅持に向けて厳しい財政状況の中、徹底した経費削減に取り組みました。これにより、令和4年度末（出納整理期間を含む。）における財政調整基金等の積立金現在高は、財政調整基金が増加したことなどにより全体として959,215千円（10.4%）増加し、10,194,990千円となっております。

特別会計は7会計からなっており、前年度に比べ、歳入が13,537,035千円で2,509,060千円（15.6%）、歳出が12,984,762千円で2,429,243千円（15.8%）それぞれ減少しております。その結果、歳入歳出差引残額及び実質収支額は509,089千円となっております。各会計別にみると、歳入歳出の増減額が大きい特別会計は工業団地整備事業です。

本市の財政状況を示す経常収支比率は、88.7%で前年度から5.3ポイント悪化し、やや硬直的な財政構造となりました。これは、人件費や物件費の増加による経常経費充当一般財源の増加額より、臨時財政特例債や地方特例交付金の減少による経常一般財源等収入額の減少額が上回ったことが要因と考えられます。

以上が令和4年度の決算概要であります。地方交付税などの増加により歳出に対する十分な財源が担保され実質黒字であり、財政調整基金の積立てに至っております。

次に、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の施行に伴う、令和4年度の実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率及び資金不足比率については、令和3年度と同様、各比率とも健全な段階であり、早期健全化基準に達している比率はありません。

本市では、株式会社スポーツクラブ天童の会員制フィットネスクラブ「ビーフリー」の施設の寄附を受け、令和4年度に健康寿命を高めるためとして、同じ場所に約1億円の予算で健康増進施設を開設しましたが、利用者数及び使用料収入が想定を下回り、使用料の見直しを行いました。今後も費用対効果を検討していくことが求められます。

また、これまで大型の投資事業を行ってきており、将来の財政への影響度が大きいと言えます。令和5年度は、雇用の場の確保と定住人口の増加を図るため、新たな工業団地の整備を予定しております。

一方、国では、財政の健全化（プライマリーバランス）に関し、令和6年度に検証を実施するとしております。内閣府の令和5年1月時点の試算によると、高い経済成長を実現すると仮定した場合でも、令和7年度の黒字化は厳しい見通しです。財政再建目標はあるものの、将来、計画の見直しなどにより地方の財政にも影響してくることが予想されます。

最後に、今後の事業・施策の展開に当たっては、投資効果を十分に見極め、全会計のバランスに配慮しながら、慎重に判断していく必要があると考えます。